

第5回 2025.5月20日掲載

弊社は、かつてはブラック企業と呼ばれていましたが、ベテラン職人から若手社員に伝統技術を承継するために工夫した事で大きく変貌を遂げました。今回は、技能・技術の承継について解説します。

技能・技術の継承：未来へ繋ぐ、匠の技

「昔はなあ、勘と経験だけでやってたんだよ。」

ベテラン職人さんの言葉に、若手社員は目を丸くする。長年の経験で培われた熟練の技。

それは、一朝一夕に身に付くものではない。

しかし、建設業界の高齢化が進み、ベテラン職人さんの引退が相次ぐ中、

その貴重な技能・技術の継承が大きな課題となっている。

かつて、建設現場では、師匠から弟子へと、直接技術が受け継がれてきた。

しかし、現代の建設現場では、時間的余裕や人材不足、

そして若者の価値観の変化など、様々な要因が重なり、従来の徒弟制度による継承は難しくなっている。

このままでは、長年培われてきた貴重な技能・技術が失われてしまう。

それは、日本の建設業の衰退に繋がりがかねない。

未来へ繋ぐため、今こそ、新たな継承方法を確立しなければならない。

1. OJT、Off-JT：多様な学びの場を提供する

OJT（On-the-Job Training）は、実際の業務を通して、実践的な技能・技術を習得する効果的な方法だ。

ベテラン社員が指導役となり、直接指導することで、技術だけでなく、仕事に対する姿勢や心構えも伝承することができる。

Off-JT（Off-the-Job Training）は、集合研修やeラーニングなど、業務から離れた場所で、体系的に知識や技能を習得する機会を提供する。

専門機関の研修に参加したりすることで、社内では得られない新たな視点や知識を学ぶことができる。

OJTとOff-JTを組み合わせることで、より効果的に技能・技術を継承することができる。

2. マニュアル作成：暗黙知を形式知化する

熟練技能者の持つ技術の多くは、経験に基づく「暗黙知」であり、言葉で伝えるのが難しい。

そこで、マニュアルや動画教材を作成することで、暗黙知を形式知化し、誰でも理解しやすい形にすることが重要となる。

作業手順を写真やイラスト付きで分かりやすく解説する。

ポイントや注意点などを具体的に記述する。

熟練技能者自身の解説動画を作成する。

マニュアル作成は、技能・技術の継承だけでなく、作業の標準化や品質向上にも役立つ。

しかし、マニュアル作成を進める中で、私はある重要なことに気がついた。

ベテラン職人から「マニュアル動画を見ただけで自転車に乗れるようになる人はいない」と指摘されたのだ。

方法を教えるだけでは、自転車には乗れない。転倒し、ケガをして体で覚えるからこそ、技術が身に付く。

これは、技能・技術の継承においても同様だ。マニュアルや動画は、あくまでも学習の補助ツールであり、それだけで熟練の技を習得することはできない。

実際に現場で経験を積み、失敗から学ぶことこそ、真の技術習得に繋がるのだ。

だからこそ、私たちは、マニュアル作成だけでなく、若手社員が積極的に現場で経験を積めるような環境づくりにも力を入れている。

ベテラン社員とのOJTを充実させ、失敗を恐れずに挑戦できる雰囲気を作る。

技能・技術の継承は、建設業の未来を担う上で、非常に重要な課題だ。OJT、Off-JT、マニュアル作成、資格取得支援など、

様々な方法を組み合わせ、積極的に取り組むことで、企業の競争力強化だけでなく、業界全体の活性化にも繋がるだろう。

そして、会社全体で「学び続ける」文化を醸成することで、技能・技術の継承がよりスムーズに行われるようになることを確信している。

次回は外国人技能実習生との連携についてお届けします。

(長機ちゃんねる) へのリンク

<https://www.youtube.com/@nagahamakisetsu>